

第7次豊川市総合計画まちづくり市民ヒアリングシート

1. 基本目標と具体的な施策

基本目標(選択)	①しごとづくり
方向	中小企業などの経営基盤強化・経営革新や創業・起業、未来技術の実装への支援、若者層の就業支援、人材育成支援、農業・商業の経営・生産性の向上など、質の高い「しごとづくり」に取り組めます。
施策(選択)	(1)創業・起業・販路開拓支援、新たなビジネスモデル構築などへの支援 ●中小企業などに対して専門家を派遣した創業、起業、経営支援相談事業などを実施し、中小企業の経営支援・経営革新、遊休不動産の活用による新たなビジネスモデルの構築支援を行います。 ●国内外における展示会やイベントへの出展にかかる費用の一部助成、各種研修や情報収集にかかる経費の補助など、販路開拓を支援します。 ●Society5.0の実現に向けた技術(未来技術)を活用した中小企業の産業強化、第2創業の支援を行います。

2. 資料「第2期豊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 取組状況報告書(令和5年度分)」関係ページ

P.2～3、4～5

これまでの取組を踏まえた、施策の実施及び目標の実現に関する課題
(商工観光課) ①【連番1、2、KPI】創業・起業・販路開拓支援に資する取組として、「チャレンジとよかわ活性化事業」や「とよかわ創業・起業支援ネットワークを活用した創業・起業の支援」を実施しているが、本施策のKPIの一つである「販路開拓支援件数」の増加を図るために、創業後の継続的な支援体制の強化や事業拡大に向けた支援等が必要である。 ②【連番4】新たなビジネスモデル構築として、ドローン等を活用した「未来技術の社会実装を通じた地域産業の強化」に取り組んでいるが、ドローン等の最新技術の活用だけでなく、スタートアップとの連携やDXの推進等、様々な側面からのアプローチが重要となり、中小企業者等に対してそれらを活用したオープンイノベーションによる企業価値の向上を促す施策が必要である。 (都市計画課) ③【連番3】創業・起業支援の手法の一つである「遊休不動産などの活用による創業支援」について、中心市街地の活性化に向けた取組でもあり、しごとづくりを支える取組であるが、遊休不動産の活用につなぐににくい実情があり、より効果的な実施方法を見出す必要がある。
次期総合計画・総合戦略の実現に向けて、上記課題の解決のために考えられる手法など
(商工観光課) ①創業・起業・販路開拓支援について、創業後のフォローアップの強化を図るとともに、事業者のニーズを的確に捉えた支援事業を展開する。 ②新たなビジネスモデル構築について、東三河ドローン・リバー構想推進協議会の活動を、愛知県や東三河スタートアップ推進協議会におけるスタートアップ支援の取組やDX推進に関する取組等と連動させながら、事業者が新事業展開を図るための環境を整える。 (都市計画課) ③遊休不動産の活用について、全国的な事例研究を行いながら効果的な実施方法を検討する。

まちづくり市民ヒアリング委員からの意見

第7次豊川市総合計画まちづくり市民ヒアリングシート

1. 基本目標と具体的な施策

基本目標(選択)	①しごとづくり
方向	中小企業などの経営基盤強化・経営革新や創業・起業、未来技術の実装への支援、若者層の就業支援、人材育成支援、農業・商業の経営・生産性の向上など、質の高い「しごとづくり」に取り組めます。
施策(選択)	(2)就労促進、人材育成支援 ●市内の製造業を支えるものづくり人材やグローバルに活躍できる人材を確保・育成するため、中小企業向けの講座を開催する職業能力開発専門学院への助成や、市内企業の熟練技能者による市内高等学校における実技指導を行うなど、人材育成への支援を行います。 ●市内での就業促進に向け、若年層および首都圏からの転入者などへの就労支援を行います。

2. 資料「第2期豊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 取組状況報告書(令和5年度分)」関係ページ

P.2～3、6～7

これまでの取組を踏まえた、施策の実施及び目標の実現に関する課題

(商工観光課)

- ①【連番5】「職業能力開発専門学院支援事業」について、講座等の実施により、中小企業者における従業員の知識等の向上を図り、地域の産業を担う人材を育成する取組であるが、受講者数が減少しているため、ニーズを捉えた講座等を実施する必要がある。
- ②【連番8】「首都圏人材確保支援事業」について、申請実績が伸びていない実情があるため、周知の方法等を検討する必要がある。

次期総合計画・総合戦略の実現に向けて、上記課題の解決のために考えられる手法など

(商工観光課)

- ①「職業能力開発専門学院支援事業」について、経済団体等と連携しながら国の方針や事業者ニーズをアンケート等により的確に捉え、事業内容を検討しながら事業を展開する。
- ②「首都圏人材確保支援事業」について、国と県と共同で実施している事業であるため、制度の改善や拡充は国・県と歩調を合わせつつ、より多くの方に活用いただけるよう周知方法を含めた利用促進を検討し実施する。

まちづくり市民ヒアリング委員からの意見

第7次豊川市総合計画まちづくり市民ヒアリングシート

1. 基本目標と具体的な施策

基本目標(選択)	①しごとづくり
方向	中小企業などの経営基盤強化・経営革新や創業・起業、未来技術の実装への支援、若者層の就業支援、人材育成支援、農業・商業の経営・生産性の向上など、質の高い「しごとづくり」に取り組みます。
施策(選択)	(3)農業・商業の活性化と経営・生産性向上の支援 ●農業の担い手を確保するため、就農塾の開講、農業機械のリースや導入補助などにより、新規就農者の発掘や農業経営者の育成を支援します。 ●豊川産農産物のブランド化や販路開拓、地産地消、食育およびスマート農業の推進、農業経営収入保険加入を支援するなど、農業経営を支援します。 ●農地の利用集積や耕作放棄地の解消、有害鳥獣による農産物への被害低減のための対策事業など、農業の生産性向上に向けた支援を行います。 ●経済団体と連携し、既存事業者への経営支援や事業活動などへの支援を行います。

2. 資料「第2期豊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 取組状況報告書(令和5年度分)」関係ページ

P.2～3、8～9

これまでの取組を踏まえた、施策の実施及び目標の実現に関する課題

(農務課)

- ①【連番10】就農者や生産性向上への支援として、ひまわり農協と連携して、新規就農者の農業機械の購入やリースに対して補助をしているが、活用率が低いため利用しやすい支援メニューを見出す必要がある。
- ②【連番11】農地を荒らす動物の駆除について支援する「有害鳥獣の捕獲と防除体制への支援」について、生産性の向上に資する取組であるが、狩猟連合豊川(猟友会)の会員や駆除組合員の高齢化による担い手不足が深刻化してきているため、若い世代に興味を持ってもらえるよう工夫する必要がある。
- ③【連番13】「耕作放棄地解消への支援」については、補助を受けることができる内容が限定的であり、補助金額も少ないことから、利用しにくい内容のため、もっと利用しやすい制度内容にする必要がある。
- ④【連番14】「地産地消、食育推進への支援」について、農業体験・調理教室等参加人数がコロナ禍以前の水準まで戻っておらず、教室等についてより多くの方が参加しやすい時期や内容となるよう検討する必要がある。

(商工観光課)

- ⑤【連番15】商業の活性化の支援として、地域事業者の事業拡大や販路開拓に資する取組を支援しているが、積極的に支援制度を活用するための効果的な手法を検討する必要がある。

次期総合計画・総合戦略の実現に向けて、上記課題の解決のために考えられる手法など

(農務課)

- ①「ひまわり農業協同組合との連携による就農者および生産性向上への支援」について、アンケート調査の実施等により、就農者のニーズを捉えた補助メニューを実施する。
- ②「有害鳥獣の補助と防除体制への支援」について、若い世代が狩猟に興味を持ってもらえるよう、SNSで情報発信をしたり、ポスターを作成し、狩猟に関心がある層が集まる店舗等に設置したりするなど、効果的な啓発方法を検討する。
- ③「耕作放棄地解消への支援」について、利用率の上がる補助内容とするため、農業委員やひまわり農協と連携し、耕作放棄地解消に向けた意見を集約するとともに、市の広報誌だけでなく農業委員推進委員への情報提供や、農協の広報誌、部会等で農業者へさらなる周知を図る。
- ④農業体験・調理教室等参加人数を増加させるため、開催する教室について、従来の広報やSNSでのイベント告知に加え、児童館や小学校にイベントのチラシ配布を行い、幅広く情報発信をするとともに、土日開催により親子で参加しやすくするなど、子育て世代のニーズを捉えた内容で実施する。

(商工観光課)

- ⑤商業の活性化の支援について、経済団体等と連携しながら事業の周知方法を工夫し、地域事業者の育成を推進するとともに、特色ある商品等の販路拡大を支援する取組を引き続き実施する。

まちづくり市民ヒアリング委員からの意見

--